

# 高梁川 流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1758~1831年



活躍した分野:

漢学者



ゆかりのある場所など:

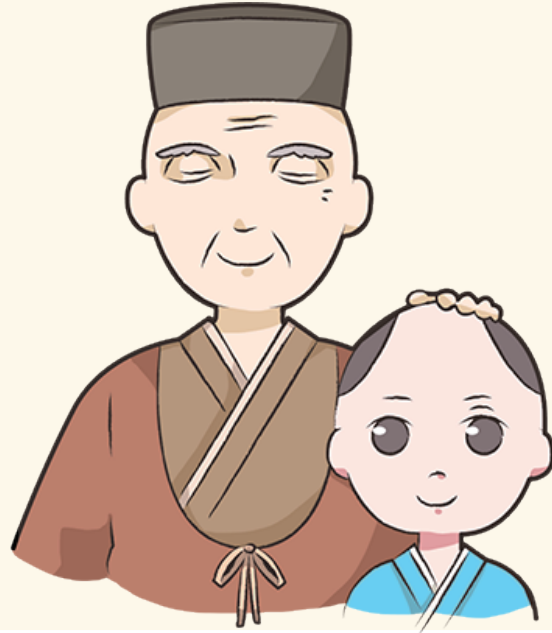
・雲居寺  
・山田方谷



まるかわ しょういん  
丸川 松隠

新見市

高梁社市 総島市 早敷市 倉掛市 矢原市 井口市 浅庄市 里岡市 笠岡市



まるかわしょういん ほうれき ねん いま くらしきしにしあちちょう う  
丸川松隠は、宝暦8（1758）年、今の倉敷市西阿知町に生まれました。

はは おしえ ようしょう がくもん せい だ さい そうじゃ かめやまじよすい しゅしがく まな  
母の教えもあり、幼少から学問に精を出し、15歳で総社の亀山如水につき朱子学を学び、

22歳になると、讃岐の尾池薫陵について医学を学びました。30歳で父母を亡くした後、

33歳の時に大阪の中井竹山の塾に入門し、この塾で佐藤一斎と共に学び、英傑として天下

に認められました。

しょういん な ぼくふ き ろうじゅうまつだいらさだのぶ えどがくもんじょしょうへいこう きょうじゅ まね  
その松隠の名が幕府にも聞こえ、老中松平定信から江戸学問所昌平校の教授に招かれまし

たが、新見藩のお殿様へご恩が忘れられず、幕府の申し出を断りました。寛政5（1793）

年、松隠が36歳の時に新見藩主の関長誠侯にお会いし、新見藩の藩校である思誠館の先生

となり、学校を良くしていくために学制改革を行い、学規（ルール）を考えました。この当

時に、備中松山藩の藩政改革を行い備中聖人と称された山田方谷もここで学んでいます。

いご ねんかん ながのぶごう くんしん こ にんげんどうし かんけい つづ  
以後18年間、長誠侯とは君臣を越えた人間同士の関係が続きました。

しょういん ほか かいようほ じゅく せいと あつ ねっしん がくもん おし  
松隠は他にも回陽舗という塾をつくり、たくさん生徒を集め、熱心に学問を教えました。

しょういん せいと やまだほうこく ぼくまつ たいへん じき はん ささ わたなべしょうか きやまふう  
松隠の生徒には、山田方谷のほか、幕末の大変な時期に藩を支えてきた、渡辺松窩や木山楓

溪などがいます。

しょういん きょういく はん せいじ さんか はんせい しなんしょ けいてん か  
また、松隠は、教育ばかりでなく、藩の政治に参加し、藩政の指南書である「型典」を書

き記し、藩の政治を改革しました。それ以後はその「型典」を使って藩の政治が行われるよ

うになり、新見藩の政治に大変貢献しました。